

市町村名		東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	東村観光産業人材育成事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-工	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	世界に通用する観光人材の育成 -1-(1)	
事業内容	村内の観光関連事業所と連携のもと、必要なノウハウを実践的に身につけることにより、東村観光案内人(観光ガイド)や沖縄本島で唯一のプロジェクトアドベンチャー(冒険教育)のインストラクターを育成する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,700				
		(b)予算現額	5,497				
		(c)増減額(b-a)	203				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	5,497				
	B.執行済額		4,755				
	うち交付金充当額		3,804				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		86.5%				
予算の状況の説明		不用額742千円については、事業完了時に支出等の内容について精査したことによる残額であり、当初計画していた事業内容は実施した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	観光ガイド育成	目標	(1)	()	()	()	
		実績	1				
	PAインストラクター育成	目標	(2)	()	()	()	
		実績	2				
達成状況説明	<p>1, 観光ガイド育成は下記の研修を実施した。 修学旅行講演会 県内視察研修 コミュニティービジネス研修 ガイド養成講習会 カヤックガイド講習会 ガイド養成研修 受入資質向上講習 シュノーケルモニターツアー サンゴ研修 マリンインストラクター養成講習 潜水士資格試験 東村の総合的な観光に関する知識習得を目指したカリキュラムを充実させるため、エコツーリズム、グリーンツーリズム、ブルーツーリズムと幅広い研修等を充実させ実施することができた。</p> <p>2, PAインストラクター育成及びPA養成講習会は下記のとおり実施した。 PA(プロジェクトアドベンチャー)インストラクターは、専門的な知識を有するため今年度は、実務研修を主に実施した。次年度にインストラクターとして必要な資格等を取得するため、講習や試験を受ける計画である。又、PA養成講習会はインストラクターの補助員を育成するために実施し、9名の方が受講した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	観光ガイド育成 1人	目標	()	(1)			()
		実績		1			
	PAインストラクター育成 2人	目標	()	(2)			()
		実績		2			
	PA養成講習会 10人	目標	()	(10)			()
実績			9				
進捗状況説明	人材育成の研修生(観光ガイド及びPAインストラクター)は、各委託事業者が求職者を募集し、育成後は観光ガイド1人、PAインストラクター2人の雇用につながった。						

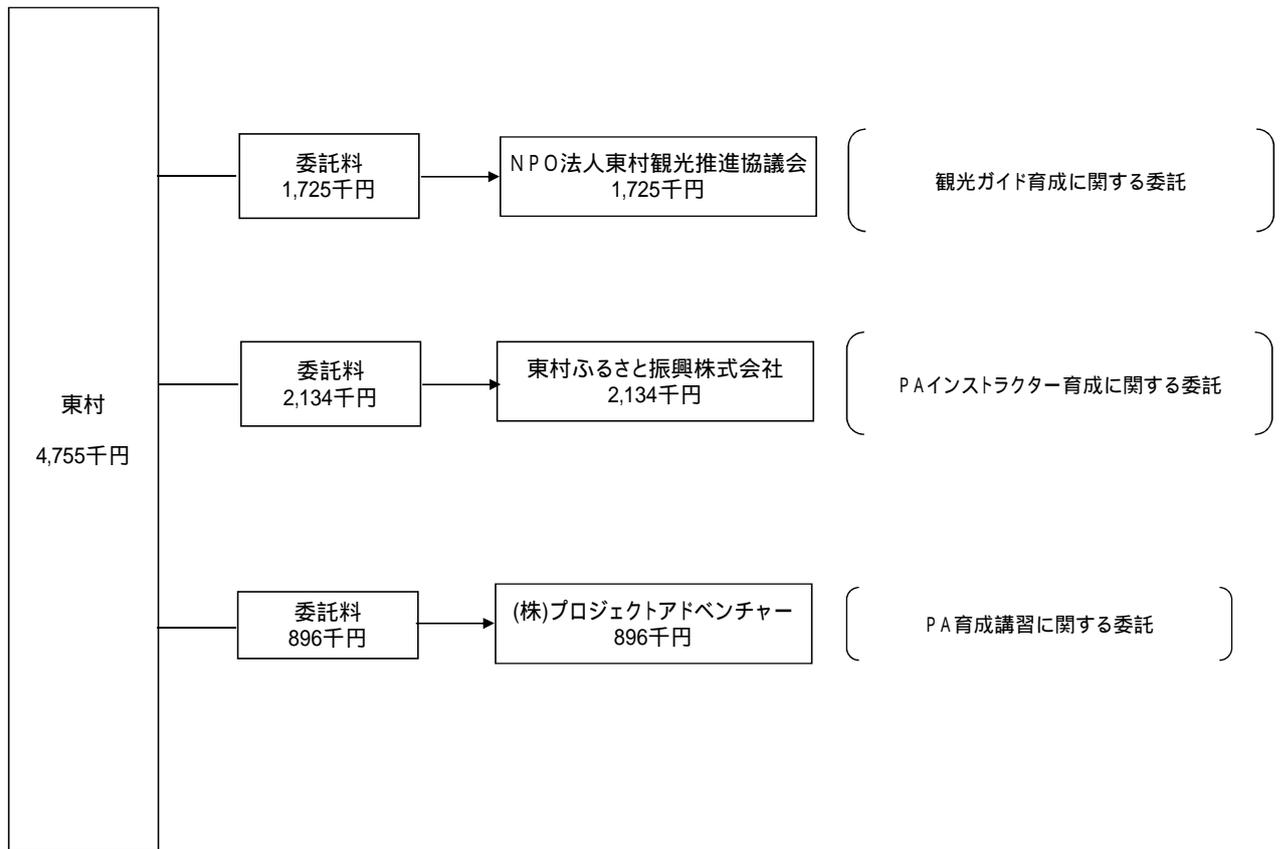
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(1) 育成者のさらなる技術スキルアップに繋げるため、研修のバージョンアップが必要である。 (2) 一定のスキルをもったインストラクター等を育成するためには、継続的な育成支援が必要である。 (3) 育成者を多数育てたいが人材が不足しているため、村外から人を呼び込む必要がある。	(1) 育成者のスキルアップを図るため、人材育成等の研修をバージョンアップしながら継続的に実施していくことが必要。育成者が就職した後も、研修を受講できる体制の構築、より高度な研修内容の検討を行い、安心・安全を提供できるよう取り組んでいく。 (2) 短期・単発的な研修だけでなく、レベルに応じた研修を実施し、育成者の技術向上に努める。 (3) 育成者を多数育てるため、村外からも人を呼び込み移住させ、地域活性化並びに産業の振興にも繋がるよう取り組む。

今後の取り組み方針

・人材育成を継続的に実施し、育成者のスキルアップ及び雇用の創出が図られるよう継続的に実施する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
4,755	4,755	3,804	951	0



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の性質及び目的が競争入札に適しないことから、企業組織、実績、知識等を勘案し、随意契約を締結した。 予算規模及び費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、適正かつ必要なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	東村の魅力PR事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-オ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度		沖縄振興基本方針該当箇所	産業間連携の強化	
事業内容	観光、産業、特産品、文化、移住等に関する東村の魅力を大々的に県内外でPR活動を行い、本村への誘客及び人口増加に繋げる。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況 (a)当初予算額 (b)予算現額 (c)増減額(b-a) (d)繰越額 A.計(b+d)		6,370				
			6,011				
			359				
			-				
			6,011				
	B.執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額		6,000				
			4,800				
			-				
	執行率(%) (B/A)		99.8%				
予算の状況の説明	当初計画していた事業計画内容については全て実施できており、適正な予算執行であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況					
			26年度	25年度	26年度	27年度	
	県内PRイベント 1回(3日間開催予定)	目標	(1回)				
		実績	1回				
	県外PRイベント等の参加 1回(東京予定)	目標	(1回)				
		実績	1回				
		目標	()				
		実績					
達成状況説明	1, 県内PRイベント 那覇市沖縄タイムスビルにて東村の観光、産業、特産品、文化、移住等に関する魅力を大々的にPRすることを目的に、平成26年7月4日～6日の3日間実施。3日間で7,110名の集客があり、県民並びに県外からの観光客等幅広く本村の魅力をPRすることができた。 2, 県外PRイベント等の参加 県外に広く来村を呼びかけ、沖縄ならではの修学旅行の魅力発信及び誘致活動へ繋げることを目的に平成26年12月1日～5日にかけて仙台、東京、大阪と3つの会場にて実施された沖縄修学旅行フェアに参加。本村の農家民泊をはじめブルーツーリズムやエコツーリズムの体験型観光及び本村の観光施設等のPRし本村への誘致活動を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
	県内PRイベント 県外PRイベント等の参加	目標	()	(2回)			()
		実績		2回			
		目標	()	()			()
		実績					
進捗状況説明	イベント開催当日は、特産品・観光・移住等のブースを設けたり、本村に関する写真展や伝統芸能の披露を実施し、多くの来場者で賑わい、目標を達成することができた。						

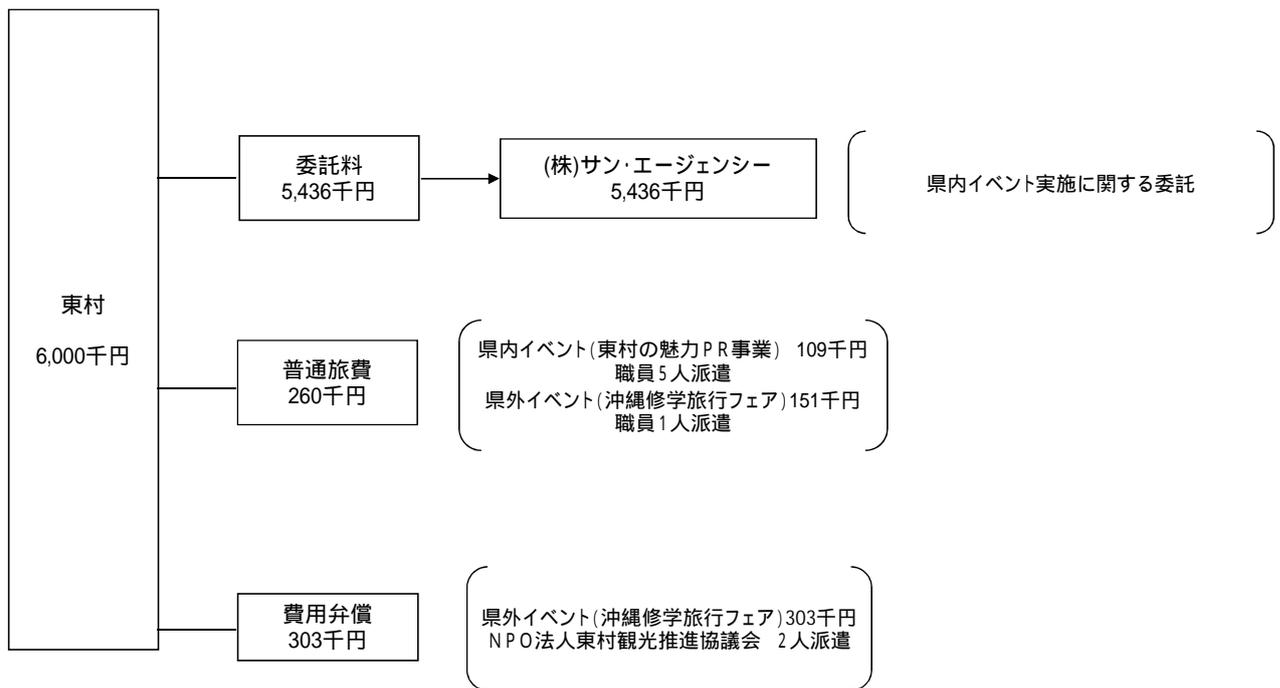
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	東村の魅力情報を発信するためPR活動を実施し、観光並びに特産品等の周知を継続して行うだけでなく、販売促進活動を積極的に取り組む必要がある。 東村への誘客人口増加又は現状維持に繋がるよう、具体的な施策を各課連携のもと、取り組む必要がある。	観光、特産品等に関する関係団体と連携の強化を図り、周知活動及び販促活動を積極的に行い、入り込み観光客の増加並びに特産品等の販路開拓を図る。

今後の取り組み方針

・事業を継続的に実施し、本村の認知度の向上を図り、観光・特産品・移住等を主に関係団体と連携しPRの強化を行う。
 ・県外での効率的なPRイベントが実施できるよう検討する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
6,000	6,000	4,800	1,200	0



資金の流 れ、費 目、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業の性質及び目的が競争入札に適しないことから、企業組織、実績、知識等を勘案し、随意契約を締結した。 予算規模及び費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、適正かつ必要なものであったと判断した
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	東村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1 -	観光基盤整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	魅力ある観光資源の情報発信及び観光客等の利便性の向上を図ることを目的とし、終日気軽に本村の観光情報等が入手できるよう、Wi-Fiスポットの環境整備などを行う。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	16,000				
		(b)予算現額	15,984				
		(c)増減額(b-a)	16				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	15,984				
	B.執行済額	15,984					
	うち交付金充当額	12,787					
	次年度繰越額	-					
	執行率(%) (B/A)	100.0%					
予算の状況の説明	当初計画していた事業計画内容については全て実施できており、適正な予算執行であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	無料公衆Wi-Fiの導入	目標	(4エリア)				
		実績	4エリア				
		目標	()				
		実績					
		目標	()				
		実績					
	達成状況説明	本村の主要観光施設である村民の森つつじエコパーク、東村ふれあいヒルギ公園、東村特産品加工直売所、東村立山と水の生活博物館(4エリア)にWi-Fiスポットの環境整備を実施し、観光客等の利便性向上及び情報発信のツール強化が図られた。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
主要イベント来場者数 40千人 主要施設来場者数 90千人		目標	()	(40千人 90千人)			()
		実績		43千人 229千人			
		目標	()	()			()
		実績					
進捗状況説明		イベント開催当日は、特産品・観光・移住等のブースを設けたり、本村に関する写真展や伝統芸能の披露を実施し、多くの来場者で賑わい、目標を達成することができた。					

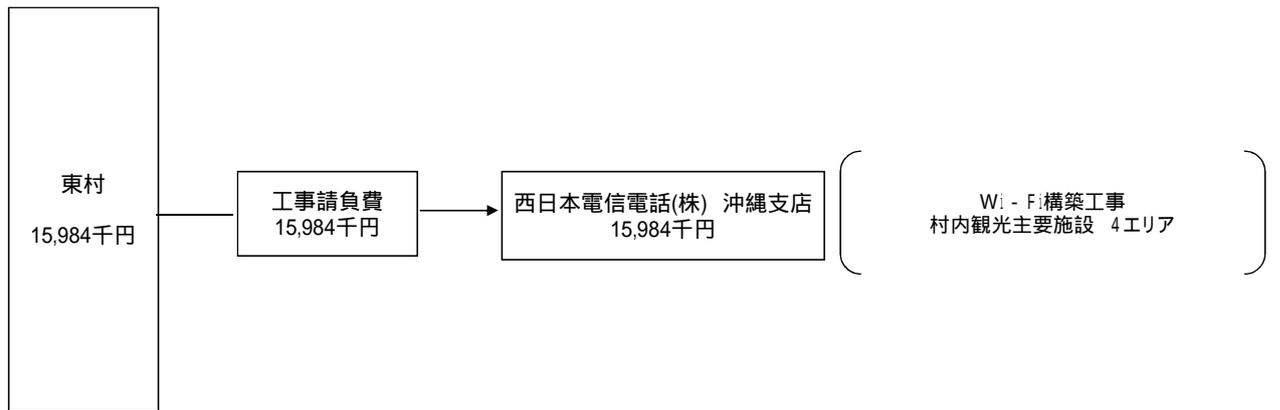
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>村内主要施設に無料Wi-Fiを整備することにより、観光客等の利便性の向上並びに観光情報等の入手が容易となった。外国人客にも無料Wi-Fiが利用できることをわかってもらえるよう多言語表示等が必要である。</p>	<p>着地型観光の推進と各施設の魅力発信、周辺施設との連携を強化し、本村で楽しめる観光のあり方や情報の充実及び利用者増加のためのPR方法を検討していく必要がある。</p>

今後の取り組み方針

新たな観光施設等のWi-Fiエリアの追加及びイベント情報や観光情報の発信、観光ポータルサイトの構築等を検討しながら地域に根ざした情報発信を行うため、自走可能な運営環境を整えていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
15,984	15,984	12,787	3,197	0



資金の流 れの点 検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>本請負工事は、性質及び目的が競争入札に適しないことから、企業組織、実績、知識等を勘案し、プロポーザル方式により契約事業所を選定し随意契約を締結した。以上のようなことにより、費目・使途が事業目的に即し、かつ予算規模も適正なものとなっていると考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1- 東村花いっぱい運動推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	企画観光課		事業実施(予定)年度 平成26～28年度		観光客の受入体制の整備	
				沖縄振興基本方針該当箇所		-1-(1)	
事業内容	一年をとおして花いっぱいの村づくりを推進するために、村内各種団体と連携して県道沿いへのプランターの設置や、花の植え付け作業などを行う。また、「東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)」を設立する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	4,000				
		(b)予算現額	4,000				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	4,000				
	B.執行済額		3,868				
	うち交付金充当額		3,094				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		96.7%				
予算の状況の説明		当初の計画どおり予算を執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会の設立	目標	(設立)				
		実績	設立				
	村内主要道路沿いへのプランターの設置	目標	(250)				
		実績	250				
	村内各箇所への花の植え付け作業(参加者)	目標	(400)				
実績		418					
達成状況説明	東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会を設立し、地域住民参加による植え付けボランティア作業を実施した。観光地のイメージ向上が図られた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会(仮称)の設立	目標	()	(設立)			()
		実績		設立			
	村内主要道路沿いへのプランターの設置数(250個)	目標	()	(250)			()
		実績		250			
	村内各箇所への花の植え付け作業(参加者400人)	目標	()	(400)			()
		実績		418			
進捗状況説明	成果目標である東村むらぐるみ花いっぱい推進協議会を設立した。また、村内各主要幹線道路沿いや観光施設へのプランター設置や村内各箇所への花の植え付け作業を実施し成果目標を達成する事ができた。						

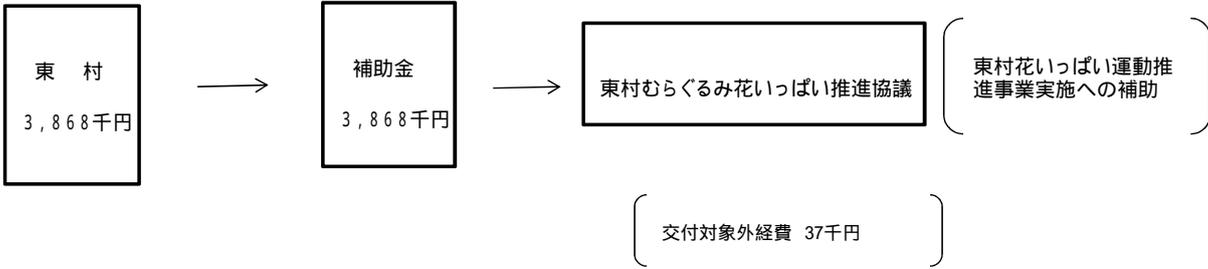
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 一年をとおして花いっぱい村づくりを推進するために、村内各種団体と連携して県道沿いへのプランターの設置や、花の植え付け作業などを行った。 事業推進には地域ボランティアの参加が必要である。 草花の選定及び植え付け場所の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 継続的な維持管理の作業が重要であることから、作業の効率化等の検討が必要である。 各市区長と連携し、各地域でのボランティア作業の推進を図り、植え付け場所や花草の選定を実施する。

今後の取り組み方針

地域住民主体の事業展開を図りつつ、継続可能な事業計画を行う。また、県内各事例を調査、視察し本事業の発展へ繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,905	3,868	3,094	774	37



資金の流れ、費目、点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	事業実施協議会への支出であり、適正であった。 活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であったと考える。 費用・用途については、完了検査にて確認適正である。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	東村
------	----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-⑥	福地川河口周辺海岸環境調査	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度 平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の推進 -1-(1)

事業内容
本村では観光レクリエーション資源には、山や川を生かしたものが多く、太平洋に面しながらも海でのレクリエーションを楽しめる場が少ない。そのため、新たな観光産業の推進を図るため、福地川周辺及び平良湾の利活用を計画し、平良湾における赤土流出等における海域での現況調査、影響調査及び改善方を検討し、観光フィールドの活用、保全を図っていく。

実施方法

直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	----	----	----	---------

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	18,144				
	(b)予算現額	18,144				
	(c)増減額(b-a)	0				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	18,144				
	B.執行済額	18,144				
	うち交付金充当額	14,515				
	次年度繰越額	-				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	計画どおり執行できた。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
	現況調査 影響予測調査 概算設計	目標	(調査委託)		
		実績	調査委託		
	目標	()			
	実績				
達成状況説明	海域の常時における水質の現状や洪水時などの気象変化時の現状を把握し、水質が良好であることで海水浴場が安心して利用できることを確認(海水浴場としての判断基準(水質A)を満足する結果となった。)				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
		現状の把握をし、改善策を策定する。	目標	()	(報告書作成)		
	実績			報告書作成			
	目標	()	()			()	
実績							
進捗状況説明	現状を把握して赤土等の堆積物の改善として、懸濁物の混じった砂に養浜砂を30cm程度投入する改善策を策定した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>福地川海浜公園の開設にあたり、海水浴場としての水質環境が適正であるか、利用者が安心して遊泳できるかを確認する。</p> <p>調査により、水質が県内の他海水浴場と比較して、ほぼ同等の水質であることが確認ができた。また、赤土等の堆積物については、上流域のパイン畑農家等関係者との改善に向けて連携を強化する。</p> <p>なお、本事業は海域における堆積物の対策まで講じる予定であったが、現況では遊泳に適正な範囲内であるため、改善策については、今後海域の状況を注視し赤土流出の対策を関係機関と連携しながら行う。</p>	<p>福地川河口は、台風、豪雨などの大雨時には赤土が河川へ流出して河口より海域へ一気に広がることから注視していく必要がある。</p> <p>また、上流域の畑での赤土対策も必要になると考えられる。</p>

今後の取り組み方針

主な赤土流出の主な発生源は、農地と考えられる。特に、パインアップルの更新時には裸地が多発生することから農林水産課、建設環境課との連携を強化して赤土対策の強化を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
18,144	18,144	14,515	3,629	0



資金の流 れ、費 目・ 使 途 の 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
			支出先の選定方法は妥当か。	<p>請負者は、指名競争入札にて契約しており、妥当と考えている。</p> <p>海水浴場の水質調査、周辺海域の調査は標準歩掛であり適正である。</p> <p>海域調査、海水浴場の水質基準を確認し、方策を検討。</p>
			予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	東村						
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-	沖縄やんばるアドベンチャーラリー推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(1)-イ		
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツアイランド沖縄の形成 -1-(1)		
事業内容	「沖縄やんばるアドベンチャーラリー」は、東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用したアドベンチャーレースであり、当該イベントの実施・普及を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,945				
		(b)予算現額	3,945				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	3,945				
	B.執行済額		3,945				
	うち交付金充当額		3,156				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		100.0%				
予算の状況の説明		当初の計画どおり予算を執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	沖縄やんばるアドベンチャーラリーの実施	目標	(実施)				
		実績	実施				
		目標	()				
		実績					
達成状況説明	平成27年2月に開催した「沖縄やんばるアドベンチャーラリー」は成功を収め、誘客効果も一定の成果があったと考える。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	沖縄やんばるアドベンチャーラリーの開催 (大会目標参加者210名 うち県外参加者20名) (前回参加者143名 うち県外参加者11名)	目標	()	(開催)			()
		実績		開催			
		目標	()				()
		実績					
	進捗状況説明	参加者の人数は210名を上回る395名(うち県外参加者36名)もあり、大会は成功に終了し事業の普及も図られたと考える。また、一定の誘客効果もあったと考える。					

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、東村の豊かな自然をフィールドにトレイルランとシーカヤックを活用したアドベンチャーレースであり、当該イベントの実施、普及を図る。 ・本事業は誘客の面では一定の効果があった。本事業の普及を図る、宣伝活動等を検討し、実施していく必要がある。 ・県外からの参加者が少なかった。 	<p>今回は県内の参加者が多かった。今後は県外からの参加者増員を計画する必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>本事業の普及、県外からの参加者の増員を図る為に、宣伝活動等を検討し実施していく。</p>		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
5,965	3,945	3,156	789	2,020
<pre> graph LR A[東村 3,945千円] --> B[補助金 3,945千円] B --> C[やんばる東アドベンチャーラリー実行委員会 3,945千円] subgraph Note1 [] C end Note1 --- Note2[イベント開催に係る経費の補助] subgraph Note3 [] C end Note3 --- Note4[実行委員会負担金 (交付対象外経費) 2,020千円] </pre>				

資金の流 れ、費 目、 使 途 の 点 検 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業実施実行委員会への支出であり、適正であった。 ・活動目標・成果目標をほぼ達成しており、予算規模は適正であった。 ・大会参加者から参加料を徴収している。 ・費用・使途については完了検査にて確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名		東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-	村内小中学校電子黒板設置事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	公平な教育機会の享受に向けた環境整備		
事業内容	村内小中学校の普通教室に電子黒板を設置することにより、より解りやすくより効果的な授業を展開し、児童生徒の学習効果と学習意欲の向上を図る。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a)当初予算額	25,000				
		(b)予算現額	22,680				
		(c)増減額(b-a)	2,320				
		(d)繰越額	-				
		A.計(b+d)	25,000				
	B.執行済額		22,680				
	うち交付金充当額		18,144				
	次年度繰越額		-				
	執行率(%) (B/A)		90.7%				
予算の状況の説明		入札残により不用額が生じたが、当初計画していた事業内容を実施でき予算もほぼ執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	30年度	
	電子黒板の整備	目標	(20カ所)				
		実績	20カ所				
		目標	()				
		実績					
達成状況説明	村内全小中学校の全普通教室(高江小中学校5教室・東小中学校9教室・有銘小中学校6教室)に電子黒板一式を設置することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	村内3小中学校の普通教室20カ所に電子黒板一式を設置	目標	()	(20カ所)			()
		実績		20カ所			
		目標	()	()			()
		実績					
	進捗状況説明	高江小中学校5教室、東小中学校9教室、有銘小中学校6教室に電子黒板を設置したことにより、全ての学校により良いICT環境が整った。今後は当該設置機器の活用を促進させ、児童生徒のさらなる学力向上を目指す。					

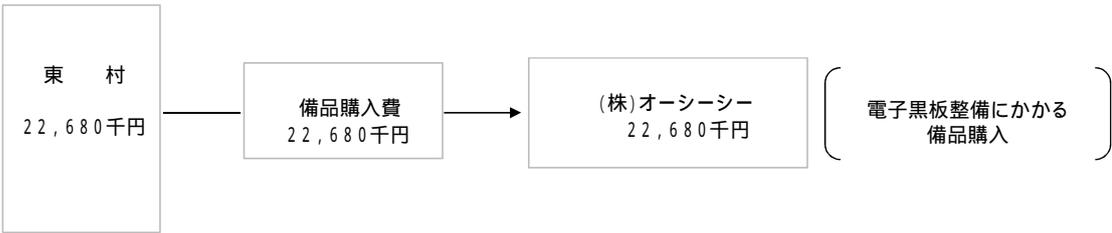
取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>村内児童生徒の学習効果と学習意欲の向上を図るために、全普通教室に電子黒板を整備することができた。室学校現場の教職員の要望に添う備品の整備ができた。今後は活用の促進のための講習会の実施や各学校での利用促進を促す。</p>	<p>教職員の各レベルに応じ、実物投影機やフラッシュ教材、デジタル教科書(オプション)等の活用のバリエーションを増やし、より学習効果を向上させる。最終的には児童生徒個々へタブレットを配布して総合的なITC授業の展開を図る。</p>

今後の取り組み方針

各学校において全教師向けの定期的な電子黒板活用の講習会を開催し、教師個々の電子黒板活用能力の向上を図り、児童生徒の学力レベルの向上に繋げる。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
22,680	22,680	18,144	4,536	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	<p>備品購入業者は、実績等を助案し指名委員会の決定を経て指名競争入札で選定しており、事業執行上妥当であった。予算規模も結果的に90%以上の執行率でほぼ適正な規模であったと判断している。費用・使途については完了検査にて確認、適正であった。</p>
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	東村
------	----

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 -	東村ブロードバンド整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-工
担当部課名	企画観光課	事業実施(予定)年度	平成26年度	情報通信基盤の整備
			沖縄振興基本方針該当箇所	-6

事業内容	村内における情報通信の格差是正を解消するため、未整備である地域に無線LANのアクセスポイントを整備する。			
------	--	--	--	--

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
------	------	----	----	----	---------

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況					
	(a)当初予算額	10,800				
	(b)予算現額	6,835				
	(c)増減額(b-a)	3,965				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	6,835				
	B.執行済額	6,835				
	うち交付金充当額	5,468				
	次年度繰越額	-				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
予算の状況の説明	計画どおり執行出来た。					

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度
		無線LANアクセスポイントの設置	目標 (2基)			
	実績	2基				
	目標 ()					
	実績					
達成状況説明	未整備地域に無線LANアクセスポイントを2基整備した。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)	
			村内の未整備である地域に2基の無線LANアクセスポイントの設置を行い住民の利便性を図る(既存カバー率95.2% 設置後カバー率100%)	目標 ()	(100%)			()
				実績	100%			
				目標 ()	()			()
	実績							
進捗状況説明	基地局整備によりカバー率の向上により、情報格差が解消された。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	カバー率の向上で情報格差が解消し、住民サービスの向上に資することができた。また、定住促進の観点からもインターネット環境整備が整ったことからアピール材料にもなる。一方でインターネットの利用環境が整ったが、携帯端末(スマートフォン・タブレットなど)で直接インターネットを利用することが出来ることから自宅や、職場でも携帯端末の利用者も増加していると思われる。	無線LANは、スマートフォン等と違って通信量の制限を受けないことから、写真や動画などの通信量の多いサイトについては無線LANが有利であることをアピールし、ブロードバンドサービスの安定した運営を図る必要がある。

今後の取り組み方針

村内への移住希望者の増加のために、ネットでの情報提供や観光客、また地域住民に地域の情報提供を活発的に行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
6,835	6,835	5,468	1,367	0



資金の流 使途の点 検・費目 ・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	請負者は、随意契約であるが村内イントラ施設を含めてブロードバンドサービスの受託を行っている関連会社であり、地域の状況を把握し、また専門性を有しており、妥当であったと考えている。 現況に則した施設整備であり適正である。 住民の情報格差是正の為、真に必要なものである。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		東村					
平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-	東村観光誘客施設(仮称)整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア	
	担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度	平成25～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興 -1-(1)	
事業内容	観光振興を図るため、東村が輩出した多彩な人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示等を行う観光拠点・情報発信施設を整備するため、調査や基本設計を実施する。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,040	15,649			
		(b)予算現額	4,940	16,092			
		(c)増減額(b-a)	100	443			
		(d)前年度繰越額	-	-			
	A.計(b+d)		4,940	16,092			
	B.執行済額		4,935	16,092			
	うち交付金充当額		3,948	12,873			
	次年度繰越額		-	-			
	執行率(%) (B/A)		99.9%	100.0%			
予算の状況の説明		計画通りの内容を実施できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			25年度	26年度	27年度	28年度	
	調査(測量、土質調査)の実施	目標	()	(調査実施)			
		実績		調査実施			
	基本設計(建築、展示)の実施	目標	(基本計画策定)	(基本設計)			
		実績	基本計画策定	基本設計			
達成状況説明	東村観光誘客施設(仮称)整備予定地の測量及び土質調査により状況把握を行ない、その結果を踏まえ、施設整備の基本設計(建築・展示)を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	調査(測量、土質調査)の完了	目標	()	()	(調査実施)		()
		実績			調査実施		
	基本設計(建築、展示)の完了	目標	()	(計画策定)	(基本設計)		()
		実績		計画策定	基本設計		
	進捗状況説明	本村が輩出した人材の功績や経歴、所有品等の紹介・展示を行い、観光誘客や人材育成を図る施設の整備に向けた基本設計(建築・展示)を行った。今後は基本設計を踏まえ、実施設計、建設工事と進めて行く。					

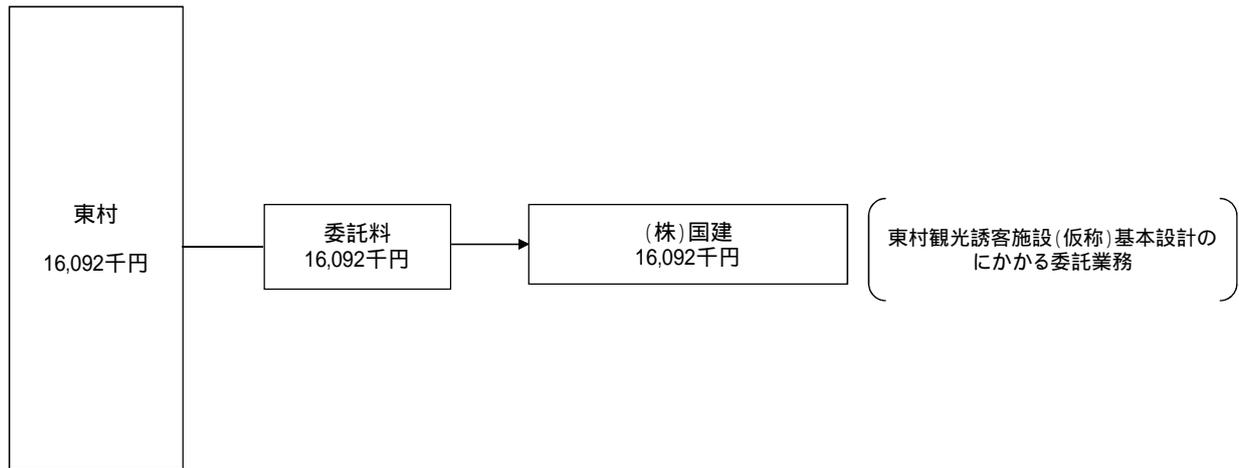
	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	基本計画の段階では建設場所が確定していなかったが、災害対策や他の施設との連携といった観点から、本村の観光拠点施設となっている東村村民の森つつじ園の臨時駐車場を活用することとした。	展示用コンテンツの作成の為に必要となる映像資料等の内容、権利者、著作権料等について確認を行い、コンテンツの充実を図る為の準備が必要である。
	デザインに関しては、本村の豊かな自然に調和し、柔らかく優しい、子ども達が夢を感じられる施設のイメージから、たまごの様な形態を採用した。	基本計画において検討されていた展示内容について、費用の面から折合いが付かず、除外したものがあつた。
	展示に関しては、本村の輩出した三顕彰者を通じて、沖縄・東村の魅力を訴求する内容となるよう、顕彰者本人及び関係者との協議を重ね設計を行った。	基本計画において公設民営を考慮し、早めに指定管理者を選定する必要がある。 施設の管理運営は少人数で行う事が前提となる為、少人数で高率よく管理運営が行えるよう留意する。

今後の取り組み方針

基本計画、基本設計を踏まえ、実施設計、建設工事と進めて行く。
建設後の管理運営に方法関しての詳細を早めに確定し、管理予定者の意向も踏まえた形で事業を推進する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
16,092	16,092	12,873	3,219	0



資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名業者を選定し、入札で契約の相手方を決定しており妥当であったと考えている。 予算規模及び費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、適正かつ必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名 東村

平成26年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6-	東村文化交流施設機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-ウ
担当部課名	総務財政課	事業実施(予定)年度 平成26～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活圏の充実 -3-(2)

事業内容 利用者のニーズに対応するため、施設の舞台周り(舞台照明、音響設備、ホール・舞台カーテン、控え室)の改修を行い、効率良く文化行事及び研修等が行えるよう施設の機能強化を図る。

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	(a)当初予算額	2,326				
	(b)予算現額	2,376				
	(c)増減額(b-a)	50				
	(d)繰越額	-				
	A.計(b+d)	2,376				
	B.執行済額	2,376				
	うち交付金充当額	1,900				
	次年度繰越額	-				
	執行率(%) (B/A)	100.0%				
	予算の状況の説明	計画通りの内容を実施できた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
	改修設計の実施	目標 (工事設計)			
		実績 工事設計			
	目標 ()				
		実績			
達成状況説明	文化交流施設の舞台周り(舞台照明、音響施設、ホール・舞台カーテン、控え室)の劣化状況及び留意事項について調査し、機能強化を図る為の建築工事及び設備工事の設計を行った。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
		改修設計の完了	目標 () (工事設計)			
	実績		工事設計			
	目標 () ()					
実績						
進捗状況説明	予定どおり設計業務を完了し、工事に向けての準備を進める事ができた。					

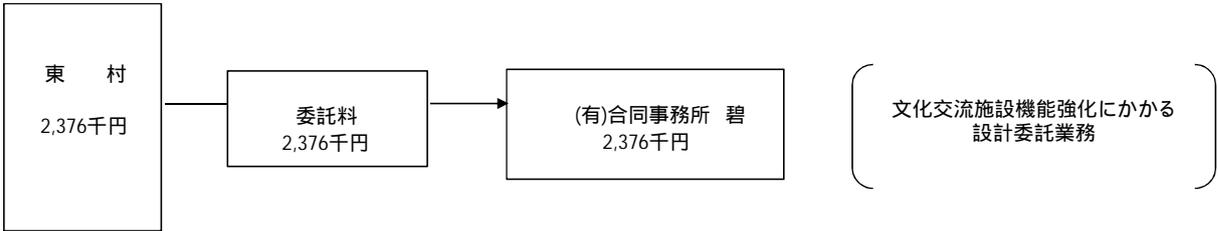
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>設計に取り掛かる前に委託業者との打ち合わせや現場確認を行い、施設の老朽化の状況と、その事によって生じている支障について検証を行い、村民がより快適且つ安全に施設を利用できるよう留意した。</p> <p>照明、音響、映写スクリーン等の設備を充実させ、より質の高い演出が行えるよう機能強化を図った。</p>	<p>機能強化により多機能・高機能になっても、利用者にとって扱いが難しくならないよう配慮したい。</p>

今後の取り組み方針

今年度作成した設計を基に、利用者のニーズに対応できる施設・設備の機能強化に向けて取り組む。工事の影響で施設が利用できなくなる期間が可能な限り短期間になるよう配慮する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,376	2,376	1,900	476	0



資金の 用途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で指名業者を選定し、入札で契約の相手方を決定しており妥当であったと考えている。 予算規模及び費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、適正かつ必要なものであったと判断した。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		